

きぼう

令和8年2月27日(金)
静岡大学教育学部
附属静岡小学校
5年学年便り3月号

全員主役 ～感謝を伝える六送会～

2月13日、きぼうの子どもを中心に準備してきた六送会が行われました。先月の学年便りでもお伝えした通り、今回の5年生の目標は「全員主役～6年生への第一歩～」です。それぞれの係ごとに当日の役割分担に分かれ、会を進めていきました。1～5年生の出し物では、5年生の合奏生演奏に合わせて全校でダンスと歌を披露しました。「思い返せば11月の第1回係別会議で出し物チームが話し合った際の『今年は全校のみんなで感謝を伝える出し物をやりたい』『去年までとは違うきぼうにしかできない出し物ができないかなあ』と、今までにない新しいアイデアを出すから始まりました。6年生にアンケートを取って選曲したり、下級生でも踊れそうなダンス動画を探したり、5年生全員で下級生の教室にダンスを教えに行く計画を立てたりと、当日を迎えるまでに学校全体へ働きかけてきた5年生の姿が思い出されました。全員が主役であるからこそ、その子にはその子の頑張りがあったはずで、そしてそこで得られた達成感や満足感もあったことでしょう。ここでは、六送会後の日記を紹介します。

今日は、ついに六送会本番でした。いざ本番となると、これまでより2時間という時間がとても短く感じられました。本番を迎えて「6年生への大きい1歩をこれから踏むんだなあ」と思いました。これから6年生は小学校、委員会、グル活、自分たちの教室、相棒など色んなことから卒業していきます。逆に5年生は委員会もグル活も相棒も勉強も学年も色んなことが進級していきます。入れ替わるこの時、それが1歩目。次は6年生になった時、進み続けることで、希望の種も育ち続けるのかなと思います。頑張ったからこそ、とても楽しかったです。

ついに六送会本番でした。私は、司会進行でした。六送会までスローガン・プログラム、そして司会がしゃべる言葉などを6人で協力してきました。その6人での頑張りが大成功につながって良かったです！！私はみんな一人一人が主役だと思ってできたから、大成功になったと思えました。六送会では6年生が笑顔でとっても嬉しかったです。これからもこの学年で協力していろいろな壁を乗り越えていきたいです。来年はこの学校のリーダーとして頑張ります。

六送会を終えてきぼうの子どもは6年生への第一歩を踏み出しました。今後は、委員長、グル長、副グルを決める選挙があります。全員主役でやってきたきぼうの子どもだからこそ、リーダーだけではなく全員で協力しながら創り上げる最高学年の姿を期待しています。そのためにもまずは、5年生としての節目を締めくくり、6年生へとつなげていけるように全力で支えていきます。最後までよろしくお願ひします。

